



日本労働組合総連合会
山梨県連合会 (略称 連合山梨)

No.333 2019.3.6

次の飛躍へ 確かな一歩を

れんごう

YAMANASHI

2019春季生活闘争 ② 春闘セミナー&闘争開始宣言集会

今こそブレイクスルー! すべての労働者の処遇改善と 働き方の見直しを!



2月6日(水) 連合山梨は、山梨県立図書館において約90名の参加で、2019春季生活闘争に向けたセミナーとあわせ闘争開始宣言集会を開催し取り組みをスタートさせました。

萩原会長より、「働き方改革法案の成立を受けて、この4月より順次施行されることとなった。2019春季生活闘争はこの働き方改革元年となることとあわせ重要な位置づけとなる。積極的に会社側に働きかけを行い、労使の真摯な協議によって真に働くもののしあわせにつながるよう歩みを進めていこう」との決意を示しました。

続いて、連合労働条件・中小労働対策局の藤川慎一局長より「2019春季生活闘争を取り巻く課題」と題し、

労働者を取り巻く環境や経済動向、規模間格差・雇用形態格差などの現状認識を明らかにするとともに、これらの格差是正を進めることが今期闘争の重要なポイントであり、すべての労働者の立場に立った働き方の見直しを進めて行くことが大切との説明を受けました。

その後、富士通アイ・ネット労働組合の三輪茂樹委員長から闘争開始宣言(案)が読み上げられ全体の拍手で承認、齋藤伊人副会長の団結ガンパローを行って閉会となりました。

2019春季生活闘争は、これまで大手・中小と別立てで示していた方針について、中小対策をその中心に置き、賃上げ率による要求から社会横断的な水準を確保する取組みとして「到達水準目標」を設定して闘争を進めていくことになります。

連合山梨は「底上げ・底支え」「格差是正」に寄与する取組みとして2%程度を基準とし定期昇給分2%とあわせ4%以上の引き上げを求めていくことを基本とし、到達水準目標の確保に向けて全力で取り組んでいきます。



〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目7-17 労農福祉センター内
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189

URL: <http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/>
E-mail: info@yamanashi.jtuc-rengo.jp

発行人 窪田 清

Facebook
いいねしてね!

連合本部フェイスブック



連合山梨ホームページ



県産材利用促進



もりかみくん

2 6 WED 「連合2035ビジョン」「連合運動強化特別委員会」学習会を開催

連合山梨は2月6日（水）に労農福祉センター5階大ホールにおいて、本部総合総務財政局下田祐二局長を招き、現在議論が進んでいる連合運動強化特別委員会の中間報告、2035年を展望した連合ビジョンについて学習会を開催しました。

今回は、2017年12月5日に開催された連合第76回中央委員会において設置された連合運動強化特別委員会が昨年11月30日に中間報告を取りまとめた事から、その設置目的や主旨、報告の概要について理解を進めることを中心に連合山梨構成組織並びに地域協議会役員を対象に開催しました。



■組織強化特別委員会の意義と目的

連合は産業別労働組合の結集によって結成され、これまでの間「すべての働く人たちのために、社会の不条理に立ち向かう組織」として運動を推進してきたが、本年10月に結成30周年を迎えることとなります。

これを機会に私たちが果たすべき社会的責任や求められている労働運動についてしっかりと見つめ直していく必要があります。

また一方ではこれまで大切にしてきた価値観や積み上げてきた運動・政策をしっかりと継承し発展させていく必要があり、これからの時代の変化に適切に対応し果敢に挑戦していく必要もあります。

連合は昨年11月30日に開催した第79回中央委員会においてこれまでの議論経過を踏まえた討論素材として中間報告を行うとともに、今後の組織討議を経て10月に開催される第16回定期大会において一定の方向性を示していくこととしています。

■議論される内容（5つのテーマ）

- ①すべての働く仲間に向けた「連合の運動メッセージ」の発信
- ②連合の力を結集し得る「共通の運動目標」の定義
連合の運動メッセージの具体化
7つの運動領域から3つの運動領域を重点分野に位置づけ
 - 連合と構成組織の参加と連携の強化
 - 地方連合会・地域協議会における今後の運動展開
 - 連合運動に関連する諸団体との協力強化と事業・活動の見直し
- ③700万組織として総力を発揮するための「組織力の強化」

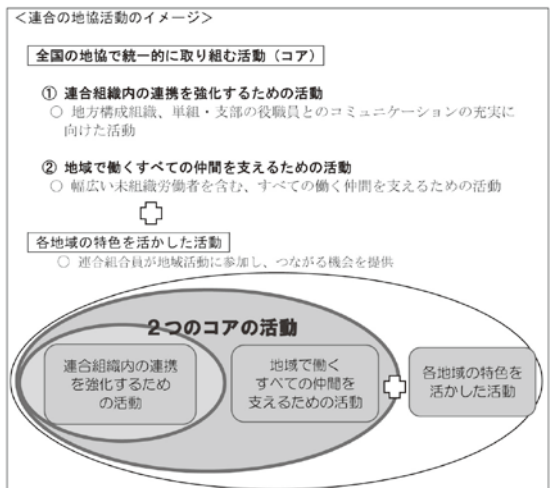
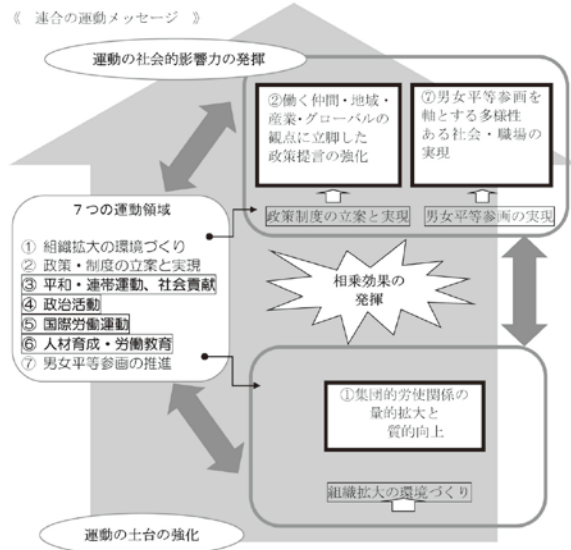


連合をプラットフォームとした部門連絡会などのあり方

組合員が連合運動に参画できる仕組みづくり
連合運動を担う人材の確保と育成

- ④すべての働く仲間から「頼りにされる連合」へ
中小・地場の組織化に向けた新たな加盟形態
全国の幅広い仲間を守る仕組みづくり

- ⑤将来の運動を支える「持続可能な財政」への改革
会費納入のあり方の見直し
地方交付のあり方の見直し
地方連合会と地域協議会の会計処理のあり方



2
20
WED

山梨労働局

2
28
THU

経済4団体に対し要請行動を実施

働き方改革関連法案の施行を前に法令順守とていねいな労使協議を求める 2019春季生活闘争、山梨県最低賃金を意識した要請を実施

連合山梨は2月20日(水)に山梨労働局、2月28日(木)に県内経済4団体に対し、8テーマ19項目に及ぶ要請書を提出しました。

本年は特に4月から順次施行される「働き方改革関連法案」に対して労働局による指導・違反に対する適切な対応を

労働局への要請行動



求めるとともに経済4団体に対しても会員、企業経営者に対してしっかりとその目的と意義を研修等で周知するよう求めました。

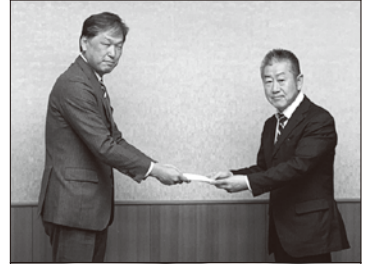
「働き方改革関連法案」の施行にあたっては、何よりも労使による将来を見据えた議論が大切であり、社会情勢の変化に適切に対応した真摯な議論が必要です。

連合山梨は2019春季生活闘争と政策・制度課題の前進を運動の両輪と位置づけ、経済団体との信頼関係をより深め、私たちの考え方に対する理解と要請内容の着実な前進を目指してこれからも取り組んでいきます。

【主な要請項目】

- ① 働き方改革関連法案への適切な対応
- ② ワーク・ライフ・バランス社会の実現に向けて
- ③ 適正な水準への最低賃金の早期引き上げ
- ④ 外国人技能実習制度の適切な実施

経済4団体への要請行動



地域協議会の活動

2
8~9
FRI SAT

中部地域協議会 拡大役員会議

「組織拡大の強化」「政治活動と選挙活動」をテーマに活発な意見交換

中部地協は、2月8日(金)～9日(土) 笛吹市「ホテルふじ」において、連合山梨から萩原会長を始め4名を含め15名の参加で中部地協拡大役員会議を開催しました。

会議は2年に1度開催しており今年の重要テーマである「組織拡大」・「政治と選挙活動」を中心に実施しました。

会議にあたり連合山梨萩原会長より知事選・甲府市長選に対する取組みへの感謝とあわせ、結果を受け止め、組織の取組みについての必要性の認識や周知などの課題をしっかりと受け止め、連合と地協がしっかりと連携して前進して行こうとのあいさつがありました。また、有泉議長からは、役員会議を通して本日の会議が今後の地協活動に活かしていただける会議にしていきたいと話がありました。

会議では、テーマごとに弘瀬事務局長を座長として、各役員全員から意見や要望など出され 活発な意見交換会が交わされました。

会議後の交流会では、参加者の皆様と大いに懇親を深める事ができ活動を通じ情報の共有や信頼関係を築き上げることの重要性を確認し終了しました。

中部地協 事務局長 弘瀬 誠

2
15~16
FRI SAT

西部地域協議会 拡大役員会議

西部地協は、2月15日(金)～16日(土)にかけて、「甲府富士屋ホテル」において西部地協拡大役員会議を開催しました。

この会議は、2年に1度開催しており、連合山梨より萩原会長・窪田事務局長・木内副事務局長・伏見副事務局長と西部地協・地区協役員18名を含め22名の方に参加を頂き開催しました。

初日の15日は、夕食懇親会を行い日頃は交流の少ない他の地区協役員との親睦を深め16日の拡大役員会議では、連合山梨の提起として、伏見事務局長より「組織拡大・組織強化」について、また 窪田事務局長より「政治活動」について解説を頂き、これを受けて長田議長を座長として、参加者全員による意見交換会を行いました。

参加者からは、日頃の活動の問題点や要望など活発な意見が交わされ有意義な会議となりました。最後に萩原会長による「会議のまとめ」を行い終了しました。

西部地協 事務局長 土橋 一光



立憲民主党山梨県連・国民民主党山梨県連 それぞれが定期大会を開催

立憲民主党山梨県連ならびに国民民主党山梨県連はそれぞれ定期大会を開催し、1年間の総括と未来に向けた方針を決定しました。連合山梨も役員をはじめ多くの構成組織のみなさんに参加いただき、両党とも盛会に開催されました。

今後は両党と連合山梨とで発足した「やまなし民主連合協議会」を軸に、より一層の連携強化や情報共有を進め、来る統一地方選挙・参議院議員選挙必勝に向けて取り組みを強化していきます。

2月16日 SAT 立憲民主党山梨県連 第1回定期大会



2月16日(土) 15時よりベルクラシック甲府にて立憲民主党山梨県連第1回定期大会が開催されました。

連合山梨からは久保寺会長代行が来賓として参加し、

多くの連合山梨役員・組合員も党員・パートナーズとして参加しました。

県連を代表して宮沢ゆか代表があいさつし、党本部からは福山哲郎幹事長が来県し、激励のあいさつがありました。

議事では2018年度の活動報告、2019年度活動方針などが満場一致の拍手で承認され、県連の役員体制や統一自治体選挙候補者の紹介と必勝を確認し、団結ガンパローで締めくくりました。

2月24日 SUN 国民民主党山梨県連 2019年度定期大会

2月24日(日) 14時よりジツプラザ甲府にて国民民主党山梨県総支部連合会2019年度定期大会が開催されました。

連合山梨からは萩原会長が来賓として参加し、多くの連合山梨役員・組合員も党員・サポーターとして参加しました。

県連を代表して望月利樹代表があいさつし、党本部からは玉木雄一郎代表のビデオメッセージによる激励あいさつがありました。

議事では2018年度の活動報告、2019年度活動方針などが満場一致の拍手で承認され、

県連の役員体制や統一地方選挙候補者と国民から立候補する参議院選挙連合比例候補5名の紹介と必勝を確認し、団結ガンパローで締めくくりました。



〈やまなし民主連合協議会発足の経緯〉

連合山梨はこれまでも民主党を基軸とした支援体制を行ってきましたが、この間の野党再編によって立憲民主党と国民民主党に分裂したことに伴い、県組織も両党に再編され、旧民主党山梨県連に所属した議員はそれぞれの党に所属することとなりました。

連合山梨はこれらの事象に対して憂慮しつつも、政党とその支援組織としての連合山梨との関係性からそれぞれの政党の独自性を認めるとともに両党の連携強化をこの間強く訴えて来ました。

昨年11月10日に立憲民主党山梨県連と国民民主党山梨県連は合同会議を開催し、両党に連合山梨を加えた「やまなし民主連合協議会」を発足させ、両党に連合山梨を加えて連携強化を図っていくことが確認されました。

これを受け、連合山梨において第13回執行委員会において「やまなし民主連合協議会」についての現時点での状況について報告し、「来る山梨県知事選挙や統一地方選挙、また7月の参議院選挙を控えるなか、「野党が結束しなければ自民党が利するだけ」であり、「野党がひとつの塊としていきたい」との強い思いから両党県連組織と連携を強化していくことを念頭に慎重に議論を重ねました。

そのうえで、2018年12月11日の第14回執行委員会において、これに賛同し参画していくことを提案、慎重かついねいな対応を進めていくことを含め、執行委員会全体で確認しました。

2月6日~8日 WED-FRI 全国一斉集中労働相談ホットラインを実施

「働きすぎにレッドカード!!」「2019年4月から時間外労働に上限規制が導入されます」

連合は「クラシノソコアゲ応援団! RENG Oキャンペーン第4弾」、「Action! 36」の取組みの一環として上記テーマを掲げて、2月6日(水)から8日(金)の3日間、全国一斉集中労働相談ホットラインを実施しました。

この活動は連合として統一テーマを掲げ、年3回(2月・6月・12月)全国47都道府県で一斉に労働相談を実施しているもので、昨年は全国で15,000件を超える相談が寄せられています。

連合山梨も本部と歩調をあわせ、1月30日(水)には36協定の重要性和サブロクの日制定の周知を兼ねた甲府駅頭におけるチラシ配布活動を実施するとともに、3地域協議会と産別の協力で地域における県内全域の街宣活動も行いました。

今回の集中労働相談ホットラインでは、連合山梨に3日間で9件の相談が寄せられましたが、相談内容は多岐に渡り様々な状況での相談が相次ぎました。

有効求人倍率も上昇を続け、労働力不足との報道などが続いている一方で、「退職を強要された」、「契約を打ち切られた」、「有給休暇は無いと言われた」、といった切実な相談が寄せられています。その多くで「パワハラ」被害を同時に訴える事例も多くなっています。法令遵守を行う経営者がほとんどである一方で、一部経営者による心ないふるまいや法律に対する知識不足もうかがえます。

時間外労働の上限規制に対する相談は3日間で1件に留まりましたが、引き続き労働相談を通じ適切な助言や解決策の提案を進め、弱い立場にある働く仲間の声にしっかりと耳を傾けていきたいと思えます。

アドバイザー 小沢 政人